



『令和8年度 全国学力・学習状況調査(4月23日調査実施)』 本校6年生調査結果概要等のお知らせ

令和8年4月23日(木)に、全国の6年生を対象として『令和8年度 全国学力・学習状況調査』が実施されました。本調査は、全国的な児童の学力や学習状況を把握・分析し、学校における児童への教育活動の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としています。

本校6年生の個人の結果につきましては、既に各家庭にお知らせしておりますが、この度、本校6年生全体の分析をお知らせいたします。このうち、「課題」につきましては、6年生だけの課題としてではなく、本校児童全体の課題として捉え、「改善の方向」も同時に、全学年を通じて改善を進めていく方向を示しております。

なお、概要の表記については、全国平均 正答率に対して、+3ポイントまでを「ほぼ同程度、やや上回っている」、-3ポイントまでを「ほぼ同程度、やや下回っている」とし、差がそれ以上の場合を「上回っている」「下回っている」と表しています。

【小学校 国語】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要

「話すこと・聞くこと」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「書くこと」

◆全国平均と比べ、下回っている。

「読むこと」

◆全国平均と比べ、下回っている。

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「情報の扱い方に関する事項」

◆全国平均と比べ、下回っている。

今回の調査における課題

●筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。

●引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

●文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること

●学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。

●情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。

改善の方向

○目的を明確にし、目的に応じて、ふさわしいつながりや配列を考えて書き表す活動の充実。

○引用する目的を明確にし、引用部分と考えとの関係を明確にして、区別して書く活動の充実。

○文章を読んで理解したことを整理したり、理解したことの中から知識や経験などに結び付くものを考えたりしながら、自分の考えをまとめる活動の充実。

○同音や同訓の漢字に注意し、言葉の意味を考えて文の中で正しく使う活動の充実。

○目的に応じて、文章の中から必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりする活動の充実。

【小学校 算数】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要

「測定」

◆全国平均と比べ、上回っている。

「数と計算」

◆全国平均と比べ、下回っている。

「図形」

◆全国平均と比べ、下回っている。

「変化と関係」

◆全国平均と比べ、下回っている。

「データの活用」

◆全国平均と比べ、下回っている。

今回の調査における課題

- 数を四捨五入して、概数で表すこと。
- 整数と小数の減法の計算をすること。
- 異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述すること。
- 立方体の体積の計算による求め方について理解すること。
- 基準量、比較量、割合の関係をとらえ、百分率で表された割合と比較量から基準量を求めること。
- 日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目し直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述すること。

改善の方向

- 数直線を用いるなどして概数を実感的に捉え、様々な数を四捨五入して概数で表す活動の充実。
- 小数の加法及び減法は、小数の仕組みの理解に基づき、整数と同じ原理や手順でできることを理する活動の充実。
- 立体の性質について理解し、計算によって体積を求める活動の充実。
- 問題場面から「基準量」「比較量」「割合」の関係を捉え、数直線などの図を用いて、数量の関係を捉える活動の充実。
- 異分母の分数の大小を判断できるように、様々な方法で分数の大小を比べることで分数の表し方についての理解を深める活動の充実。
- 日常の事象について、目的に応じて必要なデータを収集し、データの特徴や傾向を捉え考察する活動の充実。

「質 問 調 査」の 結 果 か ら

○肯定的な回答をしている児童の割合が、全国平均を上回っているもの

- ・「人が困っているときは、進んで助けていますか」
- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」
- ・「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」
- ・「あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか」
- ・「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」

○肯定的な回答をしている児童の割合が、全国平均を下回っているもの

- ・将来の夢や目標をもっていますか
- ・普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等でSNSや動画視聴などをしますか
- ・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
- ・学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか
- ・新聞をどれくらい読んでいますか。



調査の結果では、本校児童は、ほとんどの項目で肯定的な回答をしている児童の割合が、全国平均を上回っていました。特に、「人が困っているときは、進んで助けている」「地域や社会をよくするために何かしてみたい」等、「より良い生活を創造していこう」という前向きな態度が育っていることが分かりました。一方で、「将来の夢や目標をもっていますか」という項目については肯定的な回答をしている児童が下回っていることから、今後の学習でも希望をもって将来を捉えることができるよう指導を続けていきます。

また、学校が休みの日に学習したり普段読書をしたりする時間が全国平均より短い子が多く、SNSや動画視聴の時間は全国平均より長い子が多いことが分かりました。家庭学習の取組等を通して自ら計画的に学習を行うことができるようにすると共に、SNSの使い方等の指導を今後も継続していきます。